

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成29年2月9日 (2017.2.9)

【公開番号】特開2015-127307(P2015-127307A)  
 【公開日】平成27年7月9日 (2015.7.9)  
 【年通号数】公開・登録公報2015-044  
 【出願番号】特願2013-273139(P2013-273139)  
 【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 E

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 P 35/00

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/15 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抗PROK1抗体を含有する、大腸癌の治療剤。

【請求項 2】

抗PROK1抗体を含有する、大腸癌における転移抑制剤。

【請求項 3】

イリノテカン、セツキシマブ、5-フルオロウラシル、オキサリプラチン及びパニツムマブから選択される少なくとも 1 種の抗癌剤と組み合わせてなる、請求項 1 又は 2 に記載の剤。

【請求項 4】

被験物質の存在下及び非存在下、PROK1発現細胞でのPROK1の発現量を測定し、被験物質非存在下での対照細胞と比較して、PROK1の発現を抑制した物質を選択することを含む、抗癌作用を有する物質のスクリーニング方法。

【請求項 5】

癌が、大腸癌、膵癌又は甲状腺癌である、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

抗癌作用が癌転移抑制作用である、請求項 4 又は 5 に記載の方法。